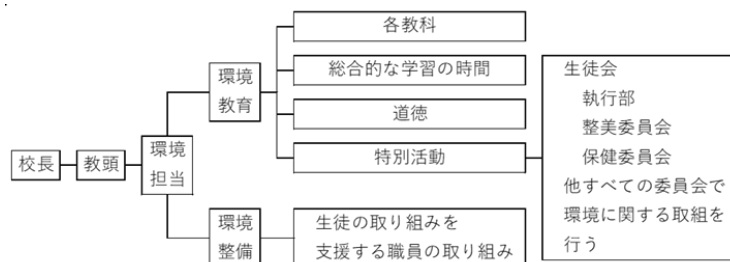


令和２年度（２０２０年度）学校版環境ＩＳＯへの取組 ＜ 熊本市立河内中学校 ＞

１ 取組の概要

（１）組織の概要

本校では学校の規模から整美委員会を中心に、設定した学校版環境ＩＳＯ行動項目宣言の達成を目指し、生徒全員がそれぞれの委員会活動などを通して環境に関する取り組みを行っている。



（２）学校版環境ＩＳＯ行動項目宣言の設定（宣言）

社会生活や学校生活で環境に関心を持ち、快適な環境づくりに進んで取り組む態度や感性の育成を目指し、学校版環境ＩＳＯ行動項目を設定した。昨年度の反省を踏まえ、今年度も継続して行っている。

～生徒用～

- ① 電気使用量維持を目指す。
 - ・教室を使わない時は、電気のスイッチの切り忘れ０を目指す。
 - ・空調機のスイッチ切り忘れ０を目指す。
 - ・暖房機器は室温１８度、冷房機器は室温２８度で使用する。
- ② 節水に取り組む。
 - ・清掃活動時はバケツを使用し、必要最低限の使用量を目指す。
 - ・掃除にはＥＭ菌を使用し、洗剤の使用を減らす。
- ③ 資源を大切にし、リサイクルを積極的に行う。
 - ・地域と連携して再生資源回収に取り組む。（年間２回）
 - ・再生可能な資源（トイレトペーパーの包み紙、芯、ペットボトルキャップ）の回収に努める。
- ④ 校内・地域の清掃活動、環境整備及び緑化に努める。
 - ・採取した種から植物を育て、花いっぱい・野菜モリモリプロジェクトを全校生徒で行い、校内緑化に努める。
- ⑤ 手洗いを徹底し、飲食時以外はマスクを着用する。

（３）本年度の取組（行動）

① 電気使用量維持に向けての取組

●各教室の節電については生活委員会の常時活動として取り組んでいる。声かけ、教室を出る時のチェックをはじめ、トイレの消灯についても学級委員会と連携して行っている。またエアコンのリモコンについては出席補助簿とともに職員室で管理し、スイッチは授業担当者が操作するように共通理解を図って行っている。

●節電対策の一環として昨年に引き続いて緑のカーテンづくりに取り組んだ。アサガオの苗は零れ種から発芽したものを利用した。日よけだけでなく見た目にも美しい環境づくりを心掛けた。しかし高さ３ｍくらいまでしか成長しなかったため、日よけとして十分なはたらきをすることはできなかったが、美しい環境づくりには一役買っていた。



② 節水への取組

- 清掃で雑巾を洗う時は蛇口から出る水で直接洗うのではなく、バケツを利用することを呼びかけた。バケツにはビニールテープで水を入れる上限を示し、水の入れ過ぎを防いだ。
- 花壇やプランターの花への水やりに雨水を溜めたものを優先して使っている。
- トイレ清掃を行う際にEM菌発酵液を水で薄めたものを使用している。EM菌により汚れが落ちやすくなり、節水だけでなく洗剤の使用を減らすことや消臭作用もある。またプールの水の浄化のために地域の「せせらぎ会」の方々にEM菌発酵液を投入していただいた。



③ 資源の活用とリサイクル

- 数年前から保健委員会ではトイレットペーパーの芯や包み紙のリサイクルを行っている。トイレットペーパーの芯などがゴミ箱に捨てられていることはなく、生徒が自主的に取り組む様子が見られ、定着してきている。週に1回保健委員会でトイレを点検し、芯や包み紙の回収を行っている。
- 毎年2回、PTAと協力して再生資源の回収を行っているが、本年は新型コロナウイルス感染拡大のため、1回のみの実施となった。生徒は積極的に参加し、地域ごとに分かれて各家庭を回り、空き缶や空き瓶、ペットボトルなどを回収した。また回収後はトラックで収集場所まで運び、PTAと協力して分別作業を行った。

④ 校内の緑化活動・清掃活動

- 小学校と連携して取り組んでいる学校前の道路わきに花を植える「河内オレンジロード」の取り組みでは、昨年引き続きこぼれ種からマリーゴールドを育てた。今後もこぼれ種から育てるサイクルを継続していきたい。



- 昨年整美委員が校内の樹木の落ち葉から作った腐葉土を7月の花壇づくりに利用し

た。また、来年度用の腐葉土も全校生徒が朝掃除で校内の落ち葉を集めて作成中である。



- 緑化活動では「花いっ

ぱい野菜もりもりプロジェクト」に取り組んだ。この活動は緑化活動に対する生徒の自主性を育てることを目的としているため例年全校生徒で行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染の影響で休校となり、学校の活動が再開されたのが6月だったことから、花いっぱいプロジェクトは2回、野菜もりもりプロジェクトは整美委員会を中心とした1回の実施となった。夏の花壇づくりである1回目の花いっぱいプロジェクトは種から育てることを諦め

て花の苗を購入し、7月1日に全校生徒でクラスごとに花壇に腐葉土を入れて耕し、花の苗を植えた。その後はクラス全員で花の成長記録をつけていった。冬の花壇づくりである2回目の花いっぱいプロジェクトは、パンジー・ビオラとノースポールを中心に種から育てていった。ノースポールは比較的育苗が簡単のため全校生徒で種から育てたが、パンジー・ビオラは秋に花を咲かせるためには育苗が難しいため、整美委員が種を蒔いてからポットに移植するまでの間は緑化担当職員が育てた。また休校の影響で育てた花の苗を全校生徒で花壇に植える時間を捻出することができず、整美委員の手で花壇に堆肥を入れて耕し、花の苗を植えていった。活動の多くを全校生徒で行うことは昨年度に比べて減ったが、校内を花でいっぱいにすることができた。野菜もりもりプロジェクトについても整美委員を中心にネギ、ラディッシュ、ブロッコリーを学年ごとに育てている。今後は2月に収穫し、河内小・中学校の給食の食材に利用してもらう予定である。これらの活動を通して命の大切さや自立活動、緑化活動に対する興味関心を高めることができた。



●清掃活動では、部活動ごとに毎朝7時45分～8時の時間帯に校内の清掃活動を行っている。無言で行い、細かいところまでしっかりと清掃を行っている。また生徒会執行部が全校生徒に呼びかけて行っている「OSG62」という活動は今年で7年目になる清掃活動で、月に1回、ゴミを拾いながら登校する方法と校内の普段できない場所を掃除する方法を交互に行っている。

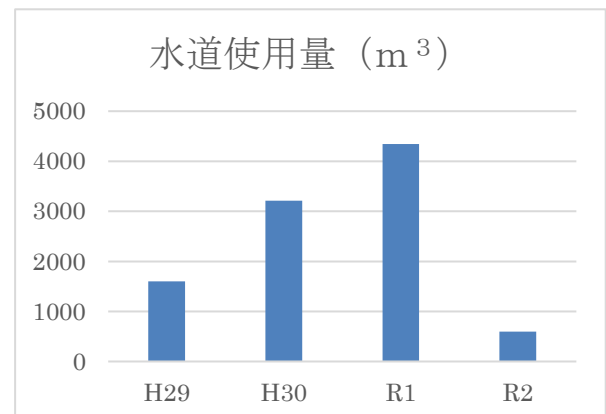
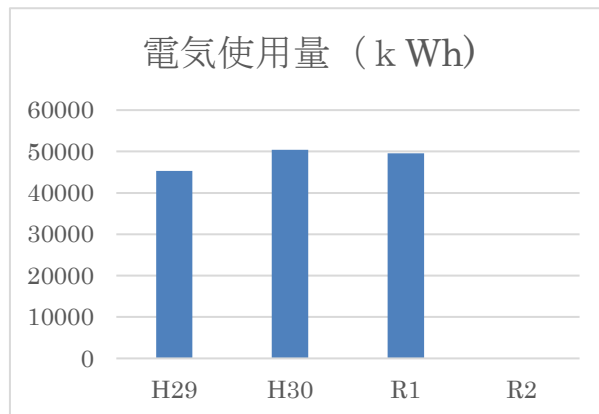
●地域の清掃活動、環境整備及び緑化活動として、今年度も河内川清掃を行った。7月に生徒たちと河内町青少年育成協議会の方々が一緒に行う清掃活動で、大人は本校の前を流れる河内川の除草とゴミ拾いを、生徒は学校敷地内の除草や溝の清掃を行った。また地域の一人暮らしのお年寄りへ花の苗を届ける活動を今年度も行うことができた。花の苗は生徒全員が種から育てたノースポールの苗で、今年度は民生



委員さんに花の苗を学校に取りに来てもらい、お年寄りのお宅に届けていただいた。民生委員さんに花の苗を贈呈する際には小学校6年生も一緒に参加し、それぞれが育てた花の苗を届けていただいた。花の苗が届くのを心待ちにされているお年寄りも多く、感謝のお手紙も頂くなど、生徒たちの励みになっている。小学生も一緒に取り組むことで地域の方との交流もさらに深まる機会となった。



(4) 記録



過去4年間の年度別の電気使用量(4月～11月)、水道使用量(4月～12月)は、上のグラフのとおりである。数値目標は電気使用量については新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために換気をしながら冷暖房を行うことと4月～5月が休校だったことを考慮して前年度比0%、つまり現状維持を目指した。しかしながら6月以降電気使用量のお知らせが来なくなり現在のところ比較することができない。水道使用量については、今年度はプールを使用しないこととなり、5%減を目指した。その結果であるが、水道使用量は激減した。原因は老朽化による体育館水道管の破損による漏水が考えられる。修理後は毎月の使用料が少なくなっていることから、来年度は今年度の5%減を目指して努力していきたい。

2 成果と課題

(1) 成果

- 水道使用量については、水道管の修理により大幅に削減することができた。
- 清掃時間のバケツ使用は習慣化できている。
- 再生資源回収への参加とトイレトペーパーの芯や包み紙のリサイクルは積極的にできている。
- 冬の花については種から育てることができた。また、来年度に向けて夏の花の種の採取ができ、夏の花も種から育てる準備が整った。

(2) 課題

- 花でいっぱいの環境づくりはできたが、夏場の水やりは雨水の利用だけでは不足し、水道水を大量に使用した。効率よく水やりをし、節水に努めたい。
- 冬の花の種の採取は、ノースポールは可能と思われるが、パンジーやビオラの種の採取については難しいかもしれない。採取できたとしても上手く育たないことや、綺麗な花が咲くかどうかかわからないので、試してみる必要がある。